

令和5年度女性の労働環境整備・活躍強化事業  
 (女性農業者グループの活動支援) 計画書

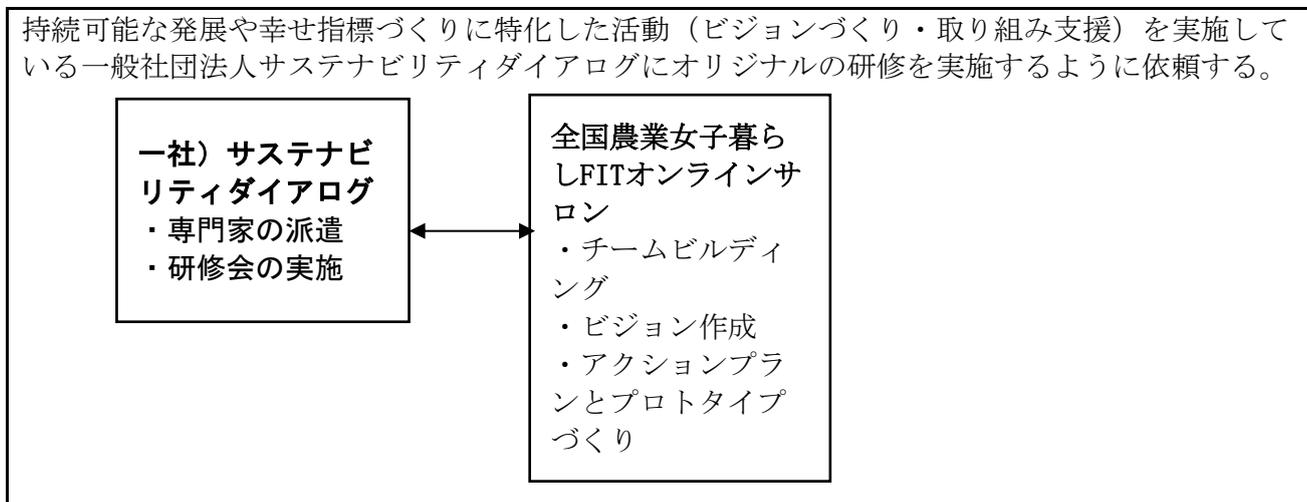
## 1 地域取組主体の概要

|                |  |   |
|----------------|--|---|
| 名称             | 全国農業女子暮らしFITオンラインサロン   |   |
| 所在地            | 長野県南佐久郡川上村原154   |   |
| 代表者            | 新海智子   |   |
| 主な組織の事業内容 (注1) | <p>業界初農業女性のオンラインサロンを令和2年1月から運営開始。現在、4年目となっている。暮らしFITオンラインサロンでは、農業女性をエンパワメントすることを目的に事業を実施してきた。主な事業内容は以下の通りである。</p> <p><b>【令和2年-令和4年】</b></p> <p>1) 地域での勉強会主催者へのサポート(山形・新潟)</p> <p>2) コーチング使用の相談会開催(5回)</p> <p>3) 農業女性活躍の歴史を学ぶ勉強会</p> <p>ロールモデルと言われる農業女性による対話を重視した勉強会開催(7回)</p> <p>4) 自己理解、コミュニケーション方法、ナラティブトーク、SNSグループやグループ学習を使った関係性・ネットワーク構築・発表会(8回)</p> <p><b>【令和5年～】</b></p> <p>5) 幸せ指標作成(東京にて研修開催)</p> <p>幸せ指標部立ち上げ、指標計測、振り返り、対話の会開催(5回/年)</p> <p>6) サステナビリティを学ぶ勉強会(10回)</p> <p>7) 対話の場を開くための勉強会参加(6回)</p> <p>8) 対話の手法、グラフィックレコーディングを学ぶ勉強会参加(各1回)</p> | <p>女性農業者の人数：6人</p> <p>オンラインサロンには、過去4年間で、全国から延べ53名が参加している。</p> <p>(注2)</p> |

(注1) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

(注2) 構成員の所在地が複数の都道府県に跨る場合、所在する都道府県名をそれぞれ記入すること。

## 2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

## 3 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組に係る計画

### (1) 地域内で活動する場合 (注)

| 取組区分 | ①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等に係る取組<br>④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他 |    |    |      |              |
|------|--|----|----|------|--------------|
|      | 区分番号   | 時期 | 内容 | 実施回数 | 参加する女性農業者の人数 |
|      |  |    |    |      |              |
|      |  |    |    |      |              |
|      |  |    |    |      |              |
|      |  | 計  |    |      |              |

(注1) 取組ごとに具体的に記載すること。また、事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際には、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

(注2) 「内容」の欄に取組の実施場所・範囲についても記載すること。

(注3) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(2) 都道府県を越えた連携・活動が含まれる場合 (注)

| 取組       | ①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等に係る取組 |   |  |                      |    |
|----------|-----------------------------------|---|--|----------------------|----|
| 区分       | ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他           |   |  |                      |    |
| 区分<br>番号 | 時期                                | 内容  | 実施回数   | 参加する<br>女性農業<br>者の人数 | 備考 |
| ④        | R6.11<br>-R7.2                    | <p>ア (連携)</p> <p>・ビジョンワークショップによる<br/>チームビジョンの作成</p> <p>※ビジョンづくりとは、私達オンラインサロンの将来のありたい姿をありありと描き出すことである。私達自身がビジョンを持つことで、今後幸せ指標の取り組みを広めていく際に、私達自身が「何の為にやるのか」「どんな事をやるのか」がぶれずに、目標達成に向かうことができる。また、ビジョン策定のために持続可能性の基礎知識を学ぶ事で、地域にとっても先進的な考えを持った考えと行動を持ってリーダーシップを発揮することが期待できる。</p> <p>・幸せ指標アクションプランの作成</p> <p>※幸せ指標をオンラインサロン外の女性農業従事者に広めるため、「幸せ指標の認知拡大のための行動指針と活動計画」を作成する</p> | <p>オンライ<br/>ン3回<br/>現地(東<br/>京)研修<br/>1回</p> | 6                    |    |

|   |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|
|   |  | <p>・ 幸せ指標プロトタイプ作成<br/>(上記の取り組みに応じて実施する)</p> <p>※昨年1年間計測した結果を踏まえ、より効果的なものにするため、指標をアップデートさせる</p> |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

(注1) 取組ごとに具体的に記載すること。また、事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際には、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

(注2) 「内容」の欄に連携の内容、取組の実施場所・範囲についても記載（都道府県を越える連携・活動内容について明記）すること。

(注3) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※添付資料のうち、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。

※第2の1の(5)の計画の承認申請においては、本様式中の「(実績)」を削除すること。